



2025.3.21

郡山市立 日和田小学校 NEWS LETTER

文責 関 忠昭

Vol.11

Pick Up 卒業証書授与式



(6年生 68名の旅立ちの日。中学校でも頑張れ!)

ありがとう6年生 卒業式

卒業

* 3月 * (弥生：草木が芽吹く月)

本日をもって今年度が終了し、6年生68名が次なるステージへと旅立ってきました。これまでの皆様の温かなご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

感謝

6年生を送る会

2月21日(金)に、体育館で「6年生を送る会」を行いました。1年生の「ありがとうゴレンジャー」に始まり、ダンスや歌、合奏、日和田町クイズ、リズムゲーム、〇×クイズ、など、各学年が趣向を凝らした多彩な活動で、楽しい時を過ごしました。5年生からの挑戦状「縄跳び(はやぶさ)対決」では、大応援の中、6年生チームが貫禄を見せ圧巻の勝利でした。

最後には6年生からのメッセージと全校生で歌う(叫ぶ?)「♪ウルトラソウル」で盛り上がりました。全体の進行や6年生の案内・誘導など、この会の準備・運営を、中心になって進めてくれた5年生の大活躍で、全校生にとって、すてきな思い出の1ページとなりました。



6年

日和田小の伝統 同窓会入会式



3月11日(火)、本校同窓会長の橋本一郎様にご来校いただき、6年生の同窓会入会式を行いました。大先輩からの温かなエールに、6年生は卒業の日が近づいていることを感じていたようでした。その後、記念品も頂戴しました。「同窓会については、過日、数年ぶりとなる「役員会」を開催し、時代に合わせた会のあり方について話し合い、会則や組織の改善案を協議しました。次年度のPTA総会の後に、新たな形をご提案させていただきます。

全校集会 「銀メダルはいらない」

全校

2月26日(火)、今年度最後の全校集会を行いました。前回は、爆笑動画を見ながら「道を切り拓くのは『勇氣』」であることを話しましたが、今回は、私が高校時代に見た口五輪「重量挙げ」の砂岡選手の挑戦を紹介。銀メダルを捨てて金メダルに果敢に挑みましたが失敗。しかし、四千人の大観衆は、金メダリスト以上の大歓声を彼に贈ります。鳴りやまないカーテンコールの意味を考えながら「たとえ後悔したとしても、チャレンジもしないで悔やんでいくよりはいい」そんな生き方を、子どもたちはどう感じたでしょうか。人生は選択の連続。正解はない。「君たちはどう生きるか」決めるのは自分。悔いのない「選択」を!

“世の中は不公平だ
でも公平なものが2つだけある”

私が高校1年生だったある夜、父が私に珍しく真剣な眼差しで語り始めました。まるで、自らの最期に近いことを知っていたかのように…。

世の中は不公平だ。 背の高い人、低い人。顔のいい人、悪い人。金持ちの家に生まれた人、貧しい家に生まれた人。どんなに頑張っても、努力ではどうにもできないことだらけ。

だが、誰にでも**公平なもの**が**2つだけ**ある。一つは、「**時間**」だ。どんなに金持ちでも、1日を25時間にはできない。どんなに貧しくても、1日が23時間にはならない。老若男女、全ての**人に24時間が平等に与えられる**。

もう一つが、「**プライド**」だ。大人でも子供でも、大金持ちでもホームレスでも、どんな人でも、褒められればうれしく、馬鹿にされれば頭にくる。表面には出さなくても、**自分を大切に思う気持ちは、みんな持っている**。それが、自分という存在への誇り「**プライド**」。

それいか、**何度でも言う。世の中は不公平だ。**

でも、それを嘆いても、**何も変わらない**。だが、誰にも公平に与えられた「**時間**」をどう使うかで、不公平は逆転できる。そして、不公平や理不尽を乗り越えようとする原動力になるのが「**プライド**」だ。

勝てるかと分かっていてる相手なら、誰でも戦う。負けると分かっていてる相手に立ち向かってこそ、**本当の勇気**だ。理不尽に負けるな。自分を信じる。できるか、できねえか、じゃねえ。やるか、やらねえかだ。疑うな、お前ならできる！
：でもな、**本当に大切なのは、結果じゃねえ。生き方だ。**自分に真つすぐに生きる。人が何て言おうと、自分にだけは嘘をつくな。人が何て言おうと、何とかなるって！

あれから40年…、そう言っただけで微笑んだ父の横顔を、今でもはつきりと覚えています。私の人生を支え続けてくれた大切な言葉です。

卒業式で、真つ直ぐに未来を見つめる6年生が輝いて見えるのも、「自分に正直に生きる」ことへの憧れが、彼らの素直で優しい笑顔に乱反射するからなのかもしれません。おめでとう！ さあ、次なるステージへ！

NEWS 1

授業参観・PTA 臨時総会・学級懇談会

2月28日(金)に、今年度最後の**授業参観・懇談会**を行いました。学習のまとめや発表など、様々な教科・形で、子どもたちの成長の跡を見ていただきました。お忙しい中、これまで最多?と思われるほどたくさんの保護者の皆様にご来校いただきました。お忙しい中、ありがとうございました。



6年生を送る会

4

4月の行事予定

- 4日(金) 学級編成発表
- 7日(月) 着任式・1学期始業式
入学式 (給食なし)
- 8日(火) 発育測定 (高学年・のびわく)
- 9日(水) 発育測定 (中学年)
- 10日(木) 発育測定 (低学年)
- 11日(金) 避難訓練・1年生給食開始
- 17日(木) 全国学力調査 (6年)
- 18日(金) 交通安全教室
- 21日(月) 校外子ども会
- 23日(水) 内科検診(3・6年)
- 24日(木) ふくしま学力調査(4~6年)
- 28日(月) 授業参観・懇談会
PTA 総会・同窓会総会
- 29日(火) ㊿昭和の日
- 30日(水) 内科検診(1・4年・のびわく)

*** お弁当の日 ***

28日(月)



コラム Column

イチロー選手が、日・米同時に「**野球殿堂**」入りを果たしました。メジャーリーグ1年目から**打率.350、首位打者、盗塁王、新人王、MVP**と脅威的な成績を残し、4年目には、84年間破られなかった**年間最多安打を更新 (262 安打)**、**打率.372**など数々の記録やタイトルを手に入れました。日米での**生涯通算安打数**は前人未到の**4,367本**です。記念すべき**4,000本安打を放った日の会見**で、記者に「数多くの記録を持つあなたが一番誇れるものは?」と問われ、こう語っています。**“4,000本を打つために、8,000回の悔しい思いがある。誇れるとすれば、常にその事実と向き合ってきたことだと思う。”**

イチロー氏の数々の**名言** (哲学) を、いくつか振り返ってみます。**“決して人が求める理想を求めません。人が笑ってほしいときに笑いません。自分が笑いたいから笑います。”**
“特別なことをするためには、普段の自分でいられることが大事です”
“小さなことを積み重ねることが、とんでもない所に行くただ一つの道”
“地道に進むしかない。後退もしながら…。自分がやると決めたことを信じてやっていく。でも、それが正解とは限らない。間違ったことを続けてしまっていることもあるけど、そうやって遠回りすることでは、ホントの自分に出会えない…。そんな気がしています。”

自分自身と正面から向き合い、自問自答を繰り返しながら、愚直なまでに「**ひた向きに**」進んできた**努力の天才**の言葉には、**生き方を考えるヒントとエール**があふれています。

